

データヘルス計画書（健保組合共通様式）

【参考事例】

計画策定日：平成 年 月 日

最終更新日：平成 年 月 日

福岡県農協健康保険組合

* データヘルス計画書（健保組合共通様式）【参考事例】は、健康保険組合の皆様にデータヘルス計画の策定における手順を具体的にイメージしてもらい、計画策定を円滑に進めていただくためのものです。これらの計画書を参考にする際には、以下の点についてご注意ください。

- (1) 事例は、それぞれの健康保険組合の形態や規模、加入者の属性のみでなく、これまで実施してきた取組等を踏まえて作成されていることから、特定の事例の記載内容を一律に模倣するのではなく、各健康保険組合の実情に応じた独自のデータヘルス計画を策定すること
- (2) 計画の策定に係る基本的な考え方についての理解を深めるために、「データヘルス計画の作成の手引き」等についても併せて参考にする
- (3) 事例はすべての健康保険組合に先行して作成しているため、項目の記載時点は、入力用ツールに記載されている時点とは異なる場合があるが、計画書に記載すべき各記載項目の時点については、「データヘルス計画書（健保組合共通様式）」に関する記載要領等に則って入力すること
- (4) 成果（アウトカム）目標および事業量（アウトプット）目標ならびに事業目的の設定については、事例を参考としながら可能なかぎり自組合で評価可能な客観的な指標を用いること

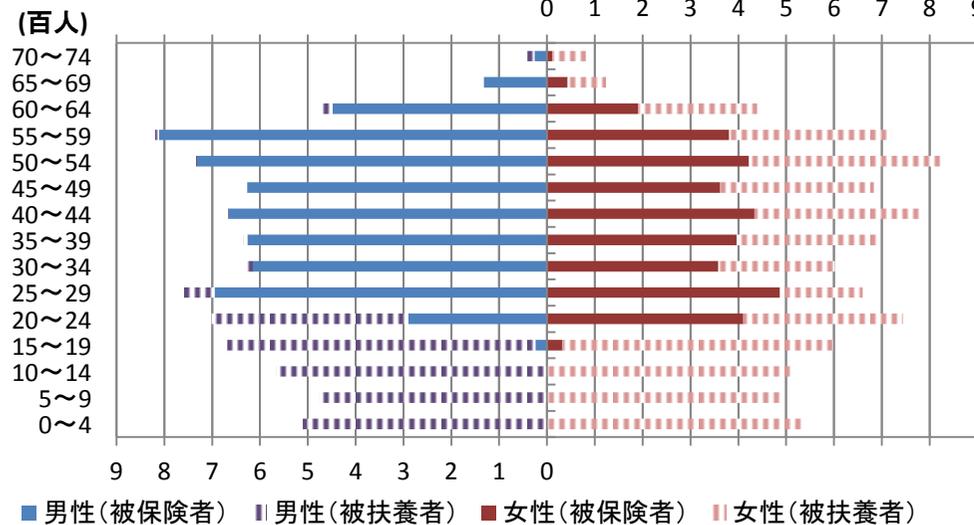
STEP 1 - 1 基本情報

「全健保組合共通様式」

組合コード	91074
組合名称	福岡県農協健康保険組合
形態	総合
被保険者数（平成26年3月末現在注） * 特例退職被保険者を除く。	9,219名 男性61.7%（平均年齢43.7歳）* 女性38.3%（平均年齢40.6歳）*
特例退職被保険者数	0名
加入者数（平成26年3月末現在注）	16,943名
適用事業所数	32カ所
対象となる拠点数	873カ所
保険料率（平成26年度 注）*調整を含む。	108.49%
	全体 被保険者 被扶養者
特定健康診査実施率（平成25年度）	85.3% 96.4% 53.0%
特定保健指導実施率（平成25年度）	51.4% 54.1% 7.2%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職 （平成27年3月末見込み）	
		常勤	非常勤
健保組合	顧問医	0	2
	保健師等	3	0
事業主	産業医	0	26
	保健師等	0	0

保健事業費	予算額（千円） （平成26年度 注）	被保険者一人当たり金額 （円）
	特定健康診査事業費	34,795
特定保健指導事業費	2,733	296
保健指導宣伝費	25,468	2,763
疾病予防費	156,900	17,019
体育奨励費		0
直営保養所費		0
その他		0
小計 …a	219,896	23,852
経常支出合計（千円） …b	4,603,688	
a/b×100（%）		4.78



(注) 記載要領参照

- ・事業所数が32ある総合健保である。
- ・男性の被保険者が61.74%を占めている。
- ・平均年齢は男性43.68歳、女性40.62歳である。
- ・扶養率は0.84と比較的低い方である。

STEP 1 - 1 基本情報

「全健保組合共通様式」

- ・過去5年の平均標準報酬月額を見ると約272,000円前後で推移しており、ほとんど伸びていない。他組合と比較しても低い水準である。
- ・各事業所で再雇用制度を採用しているところが多く、標準報酬が低い高齢の被保険者（臨時・嘱託・パート）が増加している。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

健保組合の取組															
予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因			
特定健康診査事業	1	特定健康診査	【目的】メタボリックシンドロームの改善・予防 【概要】受診率向上のため、各事業所で巡回健診を実施。被扶養者向けには集合契約による医療機関での特定健診も奨励する	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	34,795	対象者数：被保険者5,141人、被扶養者1,759人 受診者数：被保険者4,957人、被扶養者932人 受診率：被保険者 96.4%、被扶養者53.0%	被保険者については、事業主と連携をとり、健診受診への理解を得られた。 被扶養者については、健診受診機会を増やし、繰り返し受診奨励を行うことで受診率が向上した。	未受診者に対する受診奨励。被扶養者の受診率向上。	4
特定保健指導事業	3	特定保健指導	【目的】メタボリックシンドロームの改善・予防 【概要】特定健診結果に基づき、保健指導対象者に対し、保健師が事業所巡回等により保健指導を実施する	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	2,733	対象者：被保険者 積極的支援746人、動機付け支援372人 被扶養者 積極的支援 24人、動機付け支援45人 受診者：被保険者 初回面接660人、実施評価605人 被扶養者 初回面接15人、実施評価5人 受診率：被保険者 初回面接59.0%、実施評価54.1% 被扶養者 初回面接21.7%、実施評価7.2%	被保険者については、事業主からの受診指導により受診率向上。各事業所、支店、支所まで保健指導に行った。	被扶養者に対する受診指導。	4
	4	機関紙	【目的】事業の周知及び健康意識の高揚 【概要】機関紙「はつらつ」を発行し、配付する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1,382	年に3回（4月、9月、1月）全被保険者（約9,200名）に配付。任意継続被保険者は自宅宛、送付。	各事業所の協力により、所属している被保険者に配付。 読者の要望・意見に基づく情報提供。	自宅へ持ち帰らず被扶養者への周知不足。	4
	4	ホームページ	【目的】健康保険の基本情報提供及び保健事業の案内 【概要】ホームページにより最新情報等を被保険者等に発信する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	521	アクセス件数33,582件	被保険者・被扶養者がいつでも健康情報についてアクセスできるようになった。	内容の充実。（健康づくり活動への参加呼びかけ）	4
	4	健保情報ビラ	【目的】機関紙の補完機能として、最新情報の提供 【概要】健保情報ビラ「Wellnessウォッチ」を作成し、医療保険制度の動向、季節的な健康情報、行事案内等を電子媒体や紙媒体により配付する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	334	年5回（7・8・10・12・2月）作成し、全被保険者に配付。	各事業所の協力により、所属している被保険者に配付。 タイムリーな情報提供。	自宅へ持ち帰らず被扶養者への周知不足。	4
	4	その他広報	【目的】健康意識の高揚及び情報提供 【概要】月間ポスター・健康保険新聞・情報誌などを配付する	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1,558	随時	色々な角度から健康情報が収集できる。	インターネットの普及により、いつでも各種情報がとれるので、事業の縮小が必要。	4

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

保健指導宣伝	7	会議	【目的】健保事業に対する理解 【概要】役員・新任事業主・健康管理責任者などに組合の現況、医療費の動向等を説明する	被保険者	全て	男女	18	～	74	基準該当者	3,327	・常勤役員会議 ・新任事業主説明会 ・健康管理責任者研修会等を実施。	健保事業の必要性について各階層ごとに理解してもらい、協力体制の構築ができた。	積極的な事業所と消極的な事業所があること。	5
	4	健康チャレンジの推進	【目的】自分の健康を振り返り、生活習慣を改善することによる健康の保持・増進 【概要】メタボ予防、改善に有効なウォーキングを実践する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	628	参加者数 644人 対象者数 約12,000人	参加者がお互いに刺激しあいながら取り組めた。	チャレンジ期間後の継続性がない。	3
	4	各種健康教室	【目的】運動、食生活、禁煙等による健康増進 【概要】各事業所において、事業所全体や支店ごと、または役職別的小集団などを対象にした健康教室の開催を奨励する	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	340	1事業所1回開催（参加者12人）	大規模から小規模グループまでニーズに合わせて幅広く取り組めた。	健康教室の開催奨励	1
	4	被扶養者対策	【目的】被扶養者の健康増進 【概要】各種検診の受診奨励及び各種セミナーへの参加奨励などを行う	被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	862	文書指導884人、電話相談（フリーダイヤル）14人	健康診断結果を基に、リーフレットによる文書指導を実施し、健康に関する種々の悩み相談対応を行った。	相談事業の周知。	3
	7	その他の医療費適正化・健康管理対策	【目的】医療費の適正化。健康管理事業の普及 【概要】レセプト点検や医療費通知、薬剤差額通知など。メンタルヘルス対策の推進、安全衛生委員会への取り組み支援などを行う	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	7,935	レセプト点検強化、医療費通知、薬剤差額通知、健康管理事業推進などを実施。	医療機関からの適正な請求。安全衛生委員会開催等の事業での取り組み拡大。	産業医との連携不足。	3
1	一般健診	【目的】被保険者及び被扶養者の生活習慣病等の早期発見・早期予防 【概要】事業主が行う労安衛法に基づく定期健康診断を受託し、実施する。40歳以上は特定健診を兼ねて実施する	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	24,222	受診者数 被保険者7,090人、被扶養者586人 対象者 被保険者 約7,300人、被扶養者 約2,600人 受診率 被保険者 約97%、被扶養者 約23%	事業主と連携し、巡回による健康診断を行った。	被扶養者の受診率向上。	4	
	がん検診	【目的】がんの早期発見・早期治療のため、各種がん検診を実施 【概要】胃がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん、腹部超音波検査を事業所巡回にて実施、また、大腸がん検診を郵送法にて実施する	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	46,241	受診者数 胃2,095人、大腸1,626人、前立腺1,334人、子宮1,116人、乳1,127人、腹部超音波3,619人 対象者 胃、大腸 約11,000人、前立腺 約2,100人、子宮・乳 約5,600人、腹部超音波 約13,000人 受診率 胃 約19%、大腸 約15%、前立腺 約64%、子宮 約20%、乳 約20%、腹部超音波 約28%	早期がんの発見	受診奨励	3	

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

疾病 予 防	1	人間ドック	【目的】生活習慣病やがん及び循環器系疾患等の早期発見・早期治療並びに健康増進 【概要】人間ドック等の受診に対し費用補助を行う（外来ドック、短期ドック、脳ドック、循環器ドック、P E T健診）	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	39,030	受診者数 被保険者1,381人、 被扶養者154人 (対象者なし)	詳しい検査項目の実施による早期 発見。	受診時期のバラツキがあるため集 団での保健指導が実施しにくい。	4
	1	歯科検診	【目的】口腔内の健康状況を把握し、早期治 療 【概要】事業所巡回により歯科検診を実施する	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	21,389	受診者数 被保険者6,185人、 被扶養者320人 対象者数 被保険者 約9,200 人、被扶養者 約2,600人	う蝕、歯周炎の早期発見。	歯科検診受診率の向上。要治療 者の未受診者が多い。	3
	4	歯科セミナー	【目的】口腔衛生教育等を行うことにより、歯科 疾患等の予防及び早期治療の徹底。子どもの 歯に対する意識向上 【概要】歯科セミナーを開催し、口腔衛生教育 を実施。また、セミナー内で子ども歯科コンクール を実施する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	620	参加者数 71人（定員80 名） 対象者数 約16,000人	子どもの歯のコンクールなど興味を 持ってもらえるような内容で実施でき た。	セミナー参加者が少ない。	3
	4	生活習慣病予防 セミナー	【目的】生活習慣の改善・予防 【概要】医師等の専門家により正しい知識とリス クの改善方法について理解し、実践するための 動機づけとなるようセミナーを開催する	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	920	被保険者：36人、被扶養者： 12人（定員120人） 対象者数 約13,000人	血圧高値者リストを作成し、事業 所より参加を勧めていただき、参加 率が向上した。	健康診断結果におけるデータ高値 者に参加呼びかけ。健康に意識を 持ってもらうような取組みを考えない といけない。	2
	4	ニコニコベース運動 の実践	【目的】メタボリックシンドロームの改善・予防 【概要】歩く運動習慣、正しい歩き方を身につけ るため、歩け歩け大会を開催する。踏み台運動 及びエルゴメーター実践者を支援する。指定ス ポーツクラブを利用したのニコニコベース運動実践 者に対し、費用補助を行う	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	12,409	参加者数 歩け歩け大会225人、 踏み台運動・エルゴメーター実施者 30人（定員30人）、スポーツク ラブ利用者278人 対象者数 歩け歩け大会 約 16,000人、踏み台運動・エルゴ メーター 約12,000人、スポーツ クラブ利用者 約12,000人	最大酸素摂取量の増加。	参加者がまだ少ない。	2
	4	メンタルヘルス対策	【目的】心の健康づくりの推進 【概要】メンタルヘルスに関する研修会・セミナー を実施する。臨床心理士を活用し、メンタルヘル スチェック等を行う事業所を支援する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	4,939	【メンタルヘルスセミナー】3事業所3 回開催（参加者：669人） （対象 32事業所 9,000人） 【職業性ストレス簡易調査】14事 業所実施（参加者：960人） （対象32事業所 9,000人）	各事業所のメンタルヘルス不調者の 増加によりメンタルヘルスに対する意 識が高まっている。平成22年度より 職業性ストレス簡易調査を希望す る事業所に実施しており、ストレス調 査の理解も得られてきている。	事業所によりメンタルヘルス対策の 取り組み状況に差があり、今後全 事業所がメンタルヘルス対策に取り 組めるような支援を行っていかない といけない。	3

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

	3	保健師活動	【目的】健康教育・健康相談を行い、疾病予防・生活習慣改善 【概要】個別及び集団方式で指導、教育を実施する	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	300	【健康相談】被保険者：289人 (延人数) 【受診勧奨】被保険者：1,216人 (延人数)	健康診断データより対象者を絞り、事業所と連携し、健康相談を実施した。精密検査未受診者に対して、文書にて受診勧奨を行い、事業所からは対象者に声かけを依頼して、受診率向上に努めた。	精密検査の受診率を上げること で、早期発見、治療につなげ、重症化予防に努めていかないとはいけない。	4		
	7	流感予防対策	【目的】インフルエンザの予防 【概要】インフルエンザ予防接種を受けた者に費用補助を行う	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	3,000	受診者数 被保険者 2,212人、 被扶養者710人 対象者数 被保険者 約9,200 人、被扶養者 約7,700人	インフルエンザ予防対策の浸透。	予防接種者数の増。	2		
	4	前期高齢者対策	【目的】納付金に多大な影響を及ぼす前期高齢者医療費の低減 【概要】高齢者に対し、健診の受診奨励及び各種健康支援を目的にセミナーを実施する。生活習慣病や加齢からくる疾病などの重症化予防や適正受診指導等を目的に専門スタッフによる個別指導を実施する	被保険者 被扶養者	全て	男女	64	～	74	全員	3,830	【セミナー】対象者（任意継続除く）：被保険者：1,417人、被扶養者：116人 参加者（任意継続除く）：被保険者：116人、被扶養者：33人 【訪問指導】実施者数：9人	高齢者の健康づくりの内容で参加者は、興味深く聞いていた。セミナーについては、健康診断と同日に実施することで参加者を増やすことができた。	訪問について、自宅への訪問に抵抗がある人が多い。対象者へのアプローチを早めることで、訪問実施者数の増加をめざす。	3		
体 励 育 奨																	
直 営 所 保 養																	
そ の 他																	
(予 算 措 置 な)																	

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

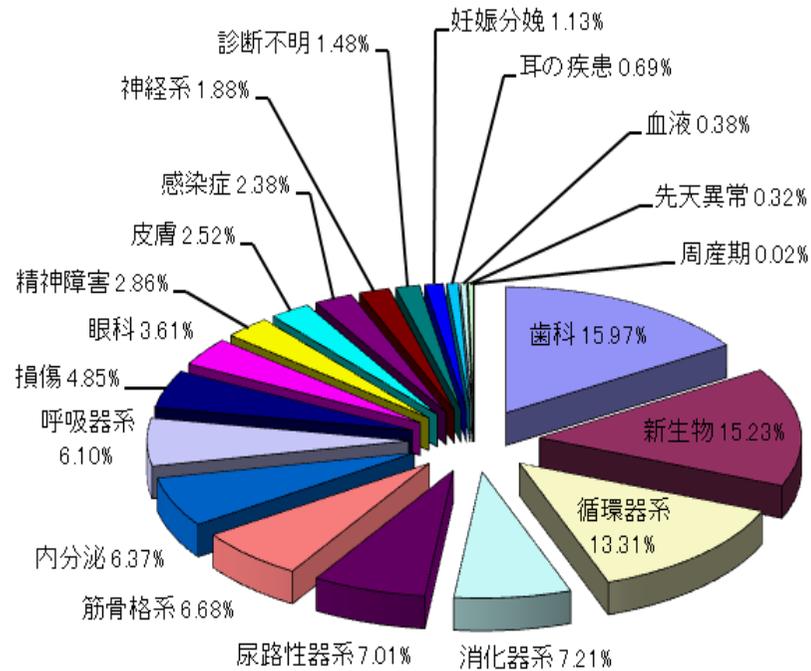
事業主の取組								
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1: 39%以下 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上

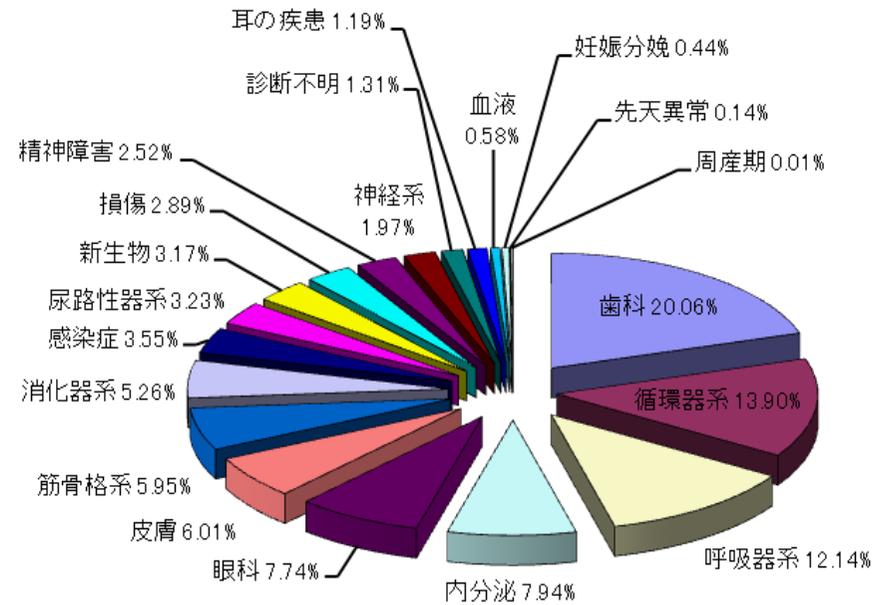
STEP 1 - 3 レセプト (コスト) 分析の概要

ア. 被保険者における病類別金額(平成25年度)



金額 1,126,166千円

イ. 被保険者における病類別受診件数(平成25年度)



件数 64,194件

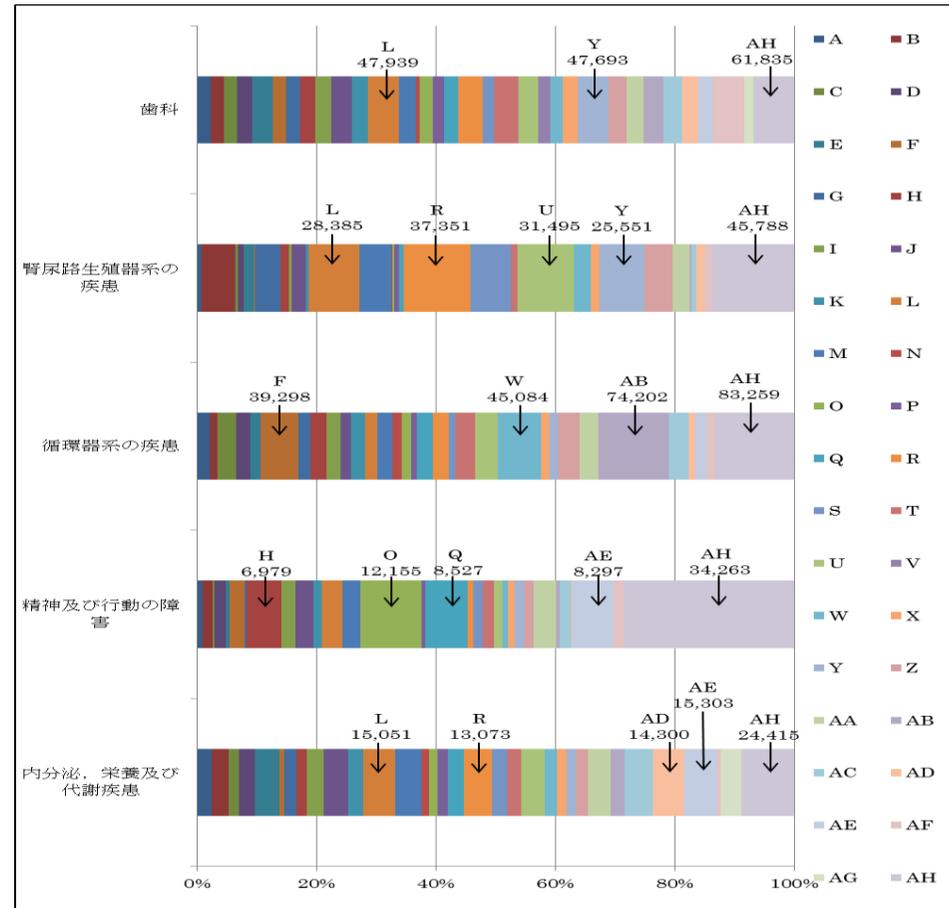
- 2013年の被保険者医療費総額は1,126,166千円。一人当たりの医療費は109,268円となっている。
- 一人当たりの医療費は65歳未満と65歳以上の前期高齢者と比較すると3倍の格差がある。
- 全体の医療費の中で、歯科、新生物、循環器の占める割合がそれぞれ15.97%、15.23%、13.31%と高額になっている。

STEP 1-4 レセプト (コスト) 分析の概要

ウ. 平成24年度一人当たり総医療費(事業所別、疾病別)



エ. 平成24年度主な疾病別事業所の占める割合

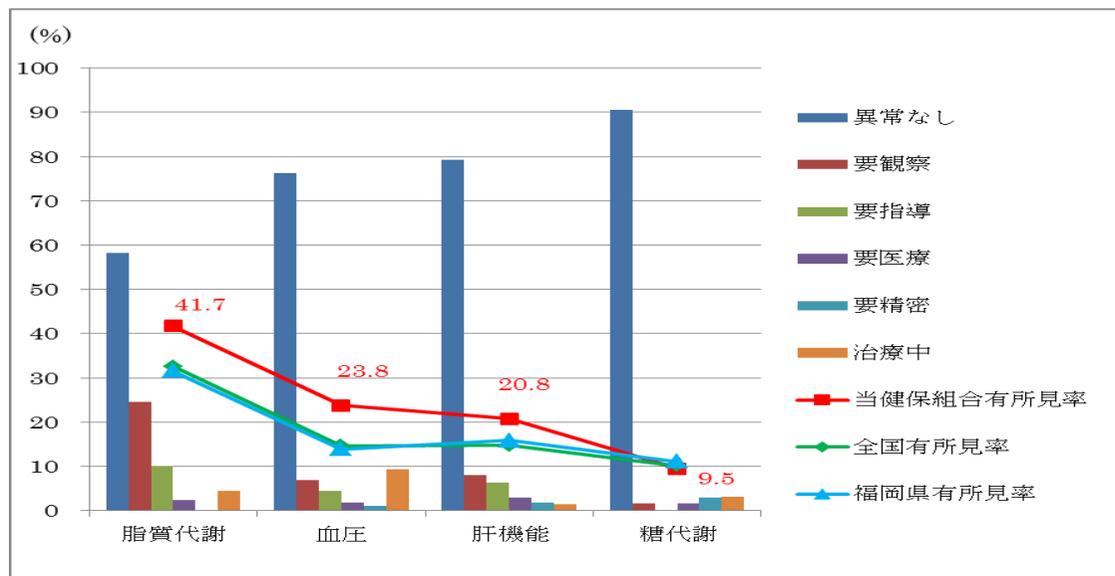


- 事業所ごとの疾病傾向がみられる。
- 主な疾病別に並べると、その疾病がどこの事業所に多いかが分かってくる。毎年度継続することで単発的であったか継続性があるものかが分かってくる。

STEP 1 - 5 健診（リスク）分析の概要

オ. 平成25年度健康診断有所見率(%)

	脂質代謝	血圧	肝機能	糖代謝
異常なし	58.3	76.2	79.2	90.5
要観察	24.5	7.0	8.1	1.7
要指導	10.2	4.5	6.3	0.0
要医療	2.5	1.8	3.0	1.7
要精密	0.0	1.1	1.9	2.9
治療中	4.5	9.4	1.5	3.2
当健保組合有所見率	41.7	23.8	20.8	9.5
全国有所見率	32.6	14.7	14.8	10.2
福岡県有所見率	31.6	13.9	15.9	11.1



- 被保険者のほとんどが健康診断を受けている。
- 全国、福岡県の統計と比較すると、脂質代謝、血圧、肝機能の有所見率が高くなっている。

STEP 1 - 6 健診(リスク) 分析の概要

カ. 平成20年度積極的支援対象者(639人)の改善状況

(平成21年度特定健診の結果) (人)

平成21年度特定健診受診者	602	積極的支援			388
		改善して対象外になった者	改善項目	延人数	163 (27.1%)
腹 囲	70				
禁 煙	7				
血 圧	41				
血 糖	56				
脂 質	59				
B M I	0				
対象項目	延人数		50		
血 圧	35				
血 糖	12				
脂 質	17				
年齢により動機づけ支援になった者				1	
未受診者	15				
資格喪失者	22				
合計	639				

(平成25年度特定健診の結果) (人)

情報提供 (リスクなし)	36	80 (13.3%)
情報提供 (腹囲のみ)	17	
動機づけ支援	27	
服薬開始者 (H22以降)	13	
積極的支援へ逆戻り	38	
その他 (未受診者・資格喪失)	32	

情報提供 (リスクなし)	2
服薬継続中	28
積極的支援 (服薬中止または中断)	7
動機づけ支援 (服薬中止または中断)	2
その他 (未受診者・資格喪失)	11

キ. 平成20年度積極的支援対象者のうち特定保健指導実施者(145人)の改善状況

(平成21年度特定健診の結果) (人)

平成21年度特定健診受診者	144	積極的支援			85
		改善して対象外になった者	改善項目	延人数	44 (30.6%)
腹 囲	25				
喫 煙	1				
血 圧	6				
血 糖	12				
脂 質	18				
B M I	0				
対象項目	延人数	15			
血 圧	13				
血 糖	5				
脂 質	1				
未受診者	1				
合計	145				

(平成25年度特定健診の結果) (人)

情報提供 (リスクなし)	5	26 (18.1%)
情報提供 (腹囲のみ)	16	
動機づけ支援	5	
服薬開始者 (H22以降)	2	
積極的支援へ逆戻り	9	
その他 (未受診者・資格喪失)	7	

情報提供 (リスクなし)	0
服薬継続中	7
積極的支援 (服薬中止または中断)	2
動機づけ支援 (服薬中止または中断)	1
その他 (未受診者・資格喪失)	5

- 特定健診・特定保健指導の始まった平成20年度に、積極的支援となった者が、その後改善したかどうかを追跡した。やはり、特定保健指導を受けなかった者より、特定保健指導終了の方が5年後においても改善率が高かった。

STEP 1 - 7 健診(リスク)分析の概要

ク. 口腔内診察結果状況(当健保組合と検診未実施組合)(平成23年度)

	受診者数 (人)	虫歯				歯周炎			
		C3		C4		P3		P4	
		総本数 (本)	1人平均 (本)	総本数 (本)	1人平均 (本)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
当健保組合	6,257	359	0.06	438	0.07	17	0.27	1	0.02
検診未実施組合	4,183	847	0.20	853	0.20	65	1.55	6	0.14

※検診未実施組合：平成23年度に初めて歯科検診を実施した健保組合

ケ. 歯科検診受診回数別の歯科医療費状況(1人当たり)

	人数 (人)	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診 件数 (件)	受診 日数 (日)	受診 点数 (点)	受診 件数 (件)	受診 日数 (日)	受診 点数 (点)	受診 件数 (件)	受診 日数 (日)	受診 点数 (点)
3年連続受診者	3,213	1,199	2,827	1,665	1,300	3,030	1,933	1,296	2,983	1,817
未受診者	1,344	1,333	3,262	2,037	1,313	3,215	2,138	1,360	3,205	2,148

※歯科検診は平成21～23年度に実施したもの。

※対象者は平成21年4月～平成26年3月まで被保険者である者。(転入、転出等異動があった者は除く)

- 当健保組合は歯科検診を昭和50年度から実施しているが、その効果があったかどうか確認するため、歯科検診を実施している当健保組合と歯科検診未実施組合で虫歯の状況、歯周炎の状況を比較したところ、虫歯の保有状況が未実施組合の方が3倍多くなっていた。また、歯周炎で比較すると、未実施組合の方が5倍多くなっていた。
- 当健保組合の歯科検診受診者と未受診者との医療費を比較してみると、明らかに検診を受けているの方が一人当たりの歯科医療費が安くなっていた。

STEP 1 - 8 健診(リスク)分析の概要

コ. 運動継続群及び非継続群の測定値の変化

(被保険者)

		1回目	2回目	有意差
体重 (kg)	継続群	74.8±16.4	74.3±15.7	なし
	非継続群	71.5±13.6	72.3±13.9	なし
体脂肪率 (%)	継続群	29.1±6.7	28.6±6.7	あり
	非継続群	30.5±7.7	31.2±7.4	なし
最大酸素摂取量 (ml/kg/分)	継続群	29.1±6.2	34.6±5.5	あり
	非継続群	27.9±4.9	30.2±5.7	あり

(平均値±標準偏差)

- 運動継続群では、体脂肪率は29.1±6.7%から28.6±6.7%へ減少しており、最大酸素摂取量は29.1±6.2ml/kg/分から34.6±5.5ml/kg/分へ有意に増加していた。
- 最大酸素摂取量の増加は、日常生活の質を向上させるだけでなく、様々な生活習慣病の危険因子を改善することが報告されており、血糖値、血中コレステロール値、血圧などの改善が健診結果で期待できる。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

オ	脂質代謝、肝機能、糖代謝、血圧の有所見率が高い。
カ	積極的支援対象者の減少。
ク ケ	歯科検診未受診者は口腔内衛生状況が悪く、う蝕、歯周炎の要治療者が多い。 歯科検診により、要治療判定を受けた者の60%が未治療である。
コ	運動を継続実施できると体脂肪率や最大酸素摂取量において有意な改善が期待できる。



対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧、高血糖者等に対して保健師が介入し、保健指導を行う。 ・特定保健指導の実施率の向上を目指し、重症化予防及び改善を行う。 ・精密検査未受診者へ受診指導を行う。
<p>特定保健指導が継続的に実施できれば改善効果があることが確認できたので、事業主と協働し、継続的な実施を目指す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診の継続実施をし、早期発見・予防を徹底する。 ・要治療者の治療状況をレセプトで確認し、未受診の者には受診指導を行う。 ・継続的な歯科衛生教育を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・有所見者に対し、踏み台運動等の実践とその継続及び効果測定の実施。 ・スポーツ施設利用による運動の実践とその継続及び効果測定の実施。 ・運動イベントにおける運動教育の実施。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

特徴		対策検討時に留意すべき点	
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・総合組合であり、32の事業所が加入している。 ・標準報酬が低い高齢の被保険者が増加している。 ・過去5年を見ると、平均標準報酬月額が、ほとんど伸びていない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・総合組合で複数の事業所があるため、各事業所、事業主との協働（コラボヘルス）が重要。 ・納付金にも影響を及ぼすため前期高齢者の健康づくり対策が必要。 ・保険料収入の増加が見込めないので、支出の適正化を検討。
保健事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質代謝、肝機能、糖代謝及び血圧の有所見率が高い。 ・歯科医療費が高い。 ・運動習慣のない者が多い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高緊急リスク未受診者も多く存在し、優先度の高い事業として早目に介入していく必要がある。 ・受診状況がレセプトでしか正確に把握できない。

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期 : 平成29年度末)		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
職場環境の整備															
その他	7	新規	職場環境の整備事業 (事業主)	【目的】職場環境を整備し、健康障害や労働災害の防止。 【概要】衛生委員会の開催や、産業医による職場巡視等を利用し、職場環境を整える。	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	全員	3	・事業主に職場環境整備の必要性について理解を求める ・職場巡視の実施	・継続	・継続	・事業所実施率 (100%)	・快適な職場の実現 (全事業所の70%)
	7	新規	衛生委員会の活用	【目的】衛生委員会で健康づくり計画の作成、評価。 【概要】衛生委員会を各事業所月1回実施。	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	全員	3	・衛生委員会における協議内容の検証 ・健康づくり計画の作成	・継続	・健康づくりの実践について各職場で評価	・事業所実施率 (100%)	・各事業所健康づくり企画 ・実施事業における改善 (各事業における改善率30%)
加入者への意識づけ															
その他	4	既存	新入職員教育・新任管理職教育、ホームページの活用	【目的】保健事業の周知、医療保険の情報提供。 【概要】各階層へ情報提供を行い、健康管理活動の実践について理解を求める。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	3	・管理 ・継続	・継続	・継続		
個別の事業															
特定健康診査事業	1	既存 (法定)	特定健康診査	【目的】メタボリックシンドロームの改善・予防。 【概要】受診率向上のため、各事業所で巡回健診を実施。被扶養者向けには集合契約による医療機関での特定健診も奨励する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	3	・事業主と協力して健診受診奨励 ・健診日時を早期に作成し、健診日を周知	・継続	・継続	・国の目標実施率の達成 ・被扶養者の受診案内奨励 (100%)	・健診実施促進 (85%以上) (・被扶養者の健診実施率50%)
特定保健指導事業	3	既存	特定保健指導	【目的】メタボリックシンドロームの改善・予防。 【概要】特定健診結果に基づき、保健指導対象者に対し、保健師が事業所巡回等により保健指導を実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	3	・健康診断、人間ドックの結果、特定保健指導対象者 (1,200人) への指導 ・特定保健指導実施率45% (540人) 以上	・継続	・継続	・特定保健指導への参加奨励 (参加対象者50%)	・特定保健指導対象者の減少 (2%減)
	4	既存	機関紙	【目的】事業の周知及び健康意識の高揚。 【概要】機関紙「はつらつ」を発行し、配付する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・継続	・継続	・継続		
	4	既存	ホームページ	【目的】健康保険の基本情報提供及び保健事業の案内。 【概要】ホームページにより最新情報等を被保険者等に発信する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・継続	・継続	・継続		
	4	既存	健保情報ピラ	【目的】機関紙の補完機能として、最新情報の提供。 【概要】健保情報ピラ「Wellnessウォッチ」を作成し、医療保険制度の動向、季節的な健康情報、行事案内等を電子媒体や紙媒体により配付する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・継続	・継続	・継続		

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期 : 平成29年度末)	
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
保健指導宣伝	4	既存 その他広報	【目的】健康意識の高揚及び情報提供。 【概要】月間ポスター・健康保険新聞・情報誌などを配付する。	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	全員	1	・継続	・継続	・継続		
	7	既存 会議	【目的】健保事業に対する理解。 【概要】役員・新任事業主・健康管理責任者などに組合の現状、医療費の動向等を説明する。	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	基準対象者	1	・継続	・継続	・継続		
	4	既存 健康チャレンジの推進	【目的】自分の健康を振り返り、生活習慣を改善することにより健康の保持・増進。 【概要】メタボ予防、改善に有効なウォーキングを実践する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・ウォーキングプログラムの告知・ピラの検討 ・ウォーキングプログラムの活用を検討	・継続	・継続	・ウォーキングプログラムの案内・周知 (全事業所) ・被保険者参加者数の増加 (5%以上)	・運動習慣のある者の割合増加 (男性：36%、女性：33%)
	4	既存 各種健康教室	【目的】運動、食生活、禁煙等による健康増進。 【概要】各事業所において、事業所全体や支店ごと、または役職別の小集団などを対象にした健康教室の開催を奨励する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	3	・継続	・継続	・継続		
	4	既存 被扶養者対策	【目的】被扶養者の健康促進。 【概要】各種検診の受診奨励及び各種セミナーへの参加奨励などを行う。	被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・継続	・継続	・継続		
	7	既存 その他の医療費適正化・健康管理対策	【目的】医療費の適正化。健康管理事業の普及。 【概要】レセプト点検や医療費通知、薬剤差額通知など。メンタルヘルス対策の推進、安全衛生委員会への取り組み支援などを行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	3	・継続	・継続	・継続		
		1	既存 (法定) 一般健診	【目的】被保険者及び被扶養者の生活習慣病等の早期発見・早期予防。 【概要】事業主が行う労安衛法に基づく定期健康診断を受託し、実施する。40歳以上は特定健診を兼ねて実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	2	・継続	・継続	・継続	
1		既存 がん検診	【目的】がんの早期発見・早期治療のため、各種がん検診を実施。 【概要】胃がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん、腹部超音波検査を事業所巡回にて実施、また、大腸がん検診を郵送法にて実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	基準対象者	1	・継続	・継続	・継続		
1		既存 人間ドック	【目的】生活習慣病やがん及び循環器系疾患等の早期発見・早期治療並び健康増進。 【概要】人間ドック等の受診に対し費用補助を行う (外来ドック、短期ドック、脳ドック、循環器ドック、PET健診)。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	1	・継続	・継続	・継続		
1		既存 歯科検診	【目的】口腔内の健康状況を把握し、早期治療。 【概要】事業所巡回により歯科検診を実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	1	・事業主と協力して健診を実施 ・要治療者への受診奨励	・継続	・継続	・歯科検診受診率の向上 (70%以上) ・要治療者受診率の向上 (100%)	・う歯・歯周病者の減少 (歯科検診での要治療者10%減)

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算 科目	注1) 事業 分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施 主体	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）				
				資格	対象 事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム			
疾病 予防	4	既存	歯科セミナー	【目的】口腔衛生教育等を行うことにより、歯科疾患等の予防及び早期治療の徹底。子どもの歯に対する意識を向上。 【概要】歯科セミナーを開催し、口腔衛生教育を実施。また、セミナー内で子ども歯科コンクールを実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	・広報により周知	・継続	・継続	・参加者の増加	・う歯・歯周病者の減少（歯科検診での要治療者10%減）
	4	既存	生活習慣病予防セミナー	【目的】生活習慣の改善・予防。 【概要】医師等の専門家により正しい知識とリスクの改善方法について理解し、実践するための動機づけとなるようセミナーを開催する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・事業主と協力してセミナーの参加促進を行う	・継続	・継続	・参加者の増加	・Ⅲ度高血圧・HbA1c6.5%以上の未治療者減少（15%減）
	4	既存	ニコニコベース運動の実践	【目的】メタボリックシンドロームの改善・予防。 【概要】運動習慣、正しい歩き方を身につけるため、歩け歩け大会を開催する。踏み台運動実践者を支援する。指定スポーツクラブを利用してのニコニコベース運動実践者に対し、費用補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・運動イベントの参加案内 ・広報による告知 ・指定スポーツ施設との連携 ・運動指導士による定期的な指導	・継続	・継続	・運動イベント参加者10%増加 ・スポーツ施設利用者10%増加	・運動習慣のある者の割合増加（男性：36%、女性：33%）
	4	既存	メンタルヘルス対策	【目的】心の健康づくりの推進。 【概要】メンタルヘルスに関する研修会・セミナーを実施する。臨床心理士を活用し、メンタルヘルスチェック等を行う事業所を支援する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	・継続	・継続	・継続		
	3	既存	保健師活動	【目的】健康教育・健康相談を行い、疾病予防・生活習慣改善。 【概要】個別及び集団方式で指導、教育を実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	3	・継続	・継続	・継続		
	7	既存	流感予防対策	【目的】インフルエンザの予防。 【概要】インフルエンザ予防接種を受けた者に費用補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	・継続	・継続	・継続		
	4	既存	前期高齢者対策	【目的】納付金に多大な影響を及ぼす前期高齢者医療費の低減。 【概要】高齢者に対し、健診の受診奨励及び各種健康支援を目的にセミナーを実施する。生活習慣病や加齢からくる疾病などの重症化予防や適正受診指導等を目的に専門スタッフによる個別指導を実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	64	～	74	全員	1	・継続	・継続	・継続		
その 他	7	新規	データ分析に基づく情報を事業所へ提供	【目的】各事業所ごとの分析・評価に基づき、個々の事業所にあった対策を検討。 【概要】データヘルス計画に基づき実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	3	・各事業所が必要とする情報を作成	・継続	・継続	・情報を利用する事業所が拡大（利用事業所100%）	・健康づくり活動を開始した者が増加（実施率80%）
	7	新規	データ分析に基づく情報を労働組合へ提供	【目的】各事業所ごとの分析・評価に基づき、個々の事業所にあった対策を事業所と検討。 【概要】データヘルス計画に基づき実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	3	・各労働組合が必要とする情報を作成	・継続	・継続	・情報を利用する労働組合が拡大（利用組合100%）	・健康づくり活動を開始した者が増加（実施率80%）

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業